

2022年度事業報告

1. 『公益目的事業』

(1) 地域におけるセーリングスポーツ・レクリエーション活動による育成普及と振興事業

- ① 地域でのセーリング教室、海洋教室への協力（呉市海洋教室、福山市民レガッタ倉橋ハンザクラブの応援） →7/30 呉セーリング連盟が観音マリーナで呉市民のハンザ試乗会を行う
- ② 広島セーリングスクールの円滑な運営と新規会員の増強を目的とした体験会の実施 →(ジュニア選手を対象とした体験会を実施) 3回 合計15名参加
- ③ 企業、学校等を対象としたセーリング体験会（レクリエーション）の実施→3回実施
- ④ 各所属団体のOBを対象とした「ハンザOB戦」を実施して会員の増強→実施せず

(2) 障害者を含むセーリングスポーツ・レクリエーション活動による育成普及と振興事業

- ① 「ハンザアジアパシフィック」と「バラワールド」大会への参加と交流
→県連あびの会から10組(2.3組,303組、リバティ2組 計16名)出場
- ② 障害者試乗会（特別支援学校、福祉センター、企業、一般市民など）7/2広島市中心身障害者福祉センター、7/23コパンハウス、7/30呉セーリング連盟
- ③ 各地のハンザ大会等に参加し、各地域の仲間と交流を図り自立をめざす
→5月江の島レガッタ（2組）、7月大阪レガッタ（2組）、9月パラセーリング選手権大会若洲（1組） 計10名参加
- ④ ハンザやOPを使用し練習会等を通じて障害者を含むセーリングの普及を行う
→4月～10月 ハンザ（あびの会）練習 21回実施

(3) 安全活動推進事業

- ① 安全講習会の実施 →メンバーズミーティングにて実施した
- ② 救助艇の運行方法の講習と管理指導→メンバーズミーティングにて実施した
- ③ 台風等、自然災害に対する指導 →メンバーズミーティングにて実施した
- ④ 救急救命、AED講習会等の実施（水難救済会の会員としての活動）→メンバーズミーティングにて実施した

(4) マリーナ利用事業（関連施設等の運営に対する援助及び参画事業）

- ① 施設の備品、消耗品の充当 →通年で実施
- ② 海洋気象状況の情報提供 →通年で実施

- ③ 競技艇・コーチボート運搬に使用するトレーラー及び備品用具の維持管理及び貸与 →通年で実施
- ④ 県連艇（競技艇、救助艇）の更新及び維持管理 →通年で随時実施
- ⑤ 新艇庫管理棟の完成に伴う、体制、施設、設備等の充実 →実施済み

（５）大会等の開催、派遣事業及び育成強化等の競技力向上事業

① 競技会開催事業（年間レース日程の調整と決定）

（ア）主催事業

県春期選手権、夏期オープン選手権（国体県予選）、会長杯、全日本チームレース（以上４大会）

大会名	参加艇数	選手数	スタッフ	合計数
県春期	42艇	72人	14人	86人
夏期オープン	58艇	109人	64人	173人
全日本チームレース	6チーム7	45人	27人	72人
県会長杯	30艇	51人	17人	68人

（イ）共同主催

呉みなとまつりヨットレース、県高校春期選手権、県高校総体、セールヒロシマ、モスプリングレガッタ、高校新人選手権、中国インカレ、全日本OPチーム選手権大会、全日本実業団選手権、県ジュニア選手権大会、鯛網ヨットレース、福山市長杯、仙酔島一周レース、TOMOディンギーカップ、広島市シングルハンド選手権

中止：因島水軍レース、因島市総体

（ウ）事業協力（運営）

「アジアパシフィックチャンピオンシップ&パラワールドチャンピオンシップ」
 （20日～23日：競技部参加延べ人員129人）別紙参考資料1～2

（エ）競技艇計測・登録

競技艇の年度登録実施、県連計測の実施⇒コロナで未実施、公式計測員養成のため計測講習会へ参加⇒未実施

（オ）国際競技規則の運用事業

チームレースクリニック→4月開催、レース運営研修会→実施せず、ルール講習会の開催→4月開催

（カ）ジャッジ養成、資格認定講習事業

ローカルレースオフィサー講習会の開催⇒未実施

② 派遣事業

- (ア)大会役員派遣（国体への役員派遣等）⇒栃木国体（中央派遣：大原、藤井）
- (イ)中国四国連絡会への参加 ⇒鳥取県（大原、藤井）
- (ウ)JSAF 専門委員会への参加（ルール委員会→藤井参加レースマネジメント委員会
→大原、松尾参加）

③ 強化事業

- (ア)栃木国体目標得点 30点 中長期目標 30点 総合8位
天皇杯18位（13点）皇后杯14位（8点）
- (イ)国体選手強化計画実施（県体協補助事業）→通年で実施
- (ウ)技術力向上のため、優秀なコーチを招聘→通年で実施
- (エ)日帰り練習会、県内合宿、県外合宿等の計画の立案と実施→通年で実施
- (オ)選手の国内外の遠征申請→通年で実施

（6）セーリングスポーツを通じて、国際交流と関係団体との相互連携事業

- ① 海の祭典、図画展等への協力→主催者が中止
- ② PDP,「アジアパシフィックチャンピオンシップ&パラワールドチャンピオンシッ
プ」等国际交流イベントへの参画と応援 →実行委員会で報告の通り

2. 『活動拠点収益事業』

- （1）自動販売機売上事業→通年で実施
- （2）親水公園清掃事業→通年で実施

3. 『会員向け事業』

（1）JSAF、HSAF 会員が、楽しく、また生涯スポーツとして永くセーリング活動ができる支援事業

- ① メンバーミーティングの開催、会報の発行、ホームページの刷新とフェイスブッ
クなどの管理→通年で実施
- ② J S A F 会員登録、団体登録、バッジテスト認定登録、小安協などの諸手続き
→通年で実施
- ③ 表彰、感謝状の贈呈（県・市体協表彰推薦等）→通年で実施
- ④ 資格取得希望者に研修会、講習会への参加を促し資格の取得推進→通年で実施

（2）施設等整備推進プロジェクト

- ① 新艇庫の建設及び既存施設の改修に伴う準備→新艇庫の完成に伴い設備の充実を
行った
- ② 親水緑地公園と空港跡地の活用と整備について調査研究及び提言 →県庁港湾課と
調整中

4. 『法人会計』

上記の1～3の事業の円滑なる運営事業 →通年実施